

平成30年度 第2回三次市地域公共交通会議 議事要旨

1. 開催概要

日 時：平成30年8月22日（水）15時00分～16時00分

場 所：三次市役所 本庁舎 3階 会議室

出席者：

〔会長〕 三次市 副市長 柴田 亮

〔委員〕

三次市地域振興部 瀧奥 恵

有限会社君田交通 松尾 宏

私鉄中国地方労働組合備北交通支部 土井 弘文

布野町 中村 義和

三次市社会福祉協議会 大田 千代

広島県地域政策局 東山 聖恵(代理)

米子工業高等専門学校 加藤 博和

備北交通株式会社 名越 一馬

三次みどりタクシー株式会社 石田 光雄

河内町 近藤 幸恵

三和町 福場 和子

中国運輸局広島運輸支局 赤澤 大(代理)

三次県警三次警察署 信永 孝之

〔オブザーバー〕

西日本旅客鉄道株式会社広島支社 渡邊 平和

2. 会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 平成30年7月豪雨に伴う公共交通の運休等について

(2) 三次市民バス甲奴町線の停留所新設について

(3) 中国バス「きんさいライナー」(三次～福山線)の運行開始について

(4) 路線バス(備北交通運行便)運行計画の一部変更について

(5) 作木町公共交通空白地有償運送「さくぎニコニコ便」の運用拡充について

4 協議事項

(1) 平成31～33年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について

(2) 路線バス「下高野線」の系統統合に伴う一部路線の廃止について

5 その他

6 閉会

【資料】

・平成30年度第2回三次市地域公共交通会議資料（報告事項1～5，協議事項1～2）

・別紙「平成31～33年度地域内フィーダー系統確保維持計画」冊子，別紙2（報告事項5）

3. 議 事

1. 開 会

2. 会長あいさつ

(柴田会長)

本日はお忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。

瀬崎前副市長と同じく、国土交通省から出向という形でこの7月から着任した。元々隣の島根県出身であり、これまで三次市とは多かれ少なかれ関わってきた。市民の皆様が暮らしていくために、バス、タクシー、JRといった公共交通にしっかりと取り組んでいくことが重要であり、この地域公共交通会議を通じて状況の共有等できればと思う。本日はよろしくお願ひしたい。

○連絡事項

<事務局より、追加資料の確認。会議の欠席者・代理出席者を報告し、次の事項を連絡>

- ・本会議は原則公開、傍聴席をもうけていること。
- ・会議資料及び質疑応答などの会議録は、市のホームページ上で公開すること。

3. 報告事項

<事務局より、報告事項(1)「平成30年7月豪雨に伴う公共交通の運休等について」を説明>

(会長)

7月豪雨では三次市でも大きな被害があった。事務局からの説明の通りバス関係では一部迂回があるものの、平常に戻ってきた。関係者の皆さんには改めて感謝申し上げたい。

本日はJR三次鉄道部の渡邊部長様にお越しいただいている。このたびの豪雨災害の影響で、鉄道にも大きな被害が発生した。被害の状況や、今後の見通し等について、渡邊部長様からお話しいただけることがあれば、お願ひしたい。

(渡邊オブザーバー)

先ほどご紹介いただいた内容以外にも三次より東方、芸備線の三次から備後落合で30数カ所被災している。被害の大小はあれども、そのうち約50%程度は復旧ができた。あと半分程が残っているということで、今山陽本線や呉線で仕事をしている協力会社が今度はこちらへ移動してスピードを上げていただけるということを聞いている。福塩線についても塩町から府中の間で30数カ所被災している。府中から下川辺の間で5箇所程度、道路と線路が並行していない、川を挟んだ状態の所が大きく被災しており、線路を作業用の通路にしながら復旧にあたっていくということで時間がかかっている。また、芸備線も比婆山から落合の間で道路が並行しておらず、やりづらい状況で仕事をせざるを得ない所もある。時間を頂戴しながら、河川管理者や沿線の地権者らと協議をしつつ、協力をいただきながら復旧に努めてまいりたい。

バス代行については芸備線、福塩線沿線のバス会社、タクシー会社にご協力いただきながら、列車のダイヤに合わせて代行バスを運行している。当初、夏休み明けの登校日は20日からと聞いていたため、20日から朝夕の便を大型バス2台で運行している。もし乗り切れないような状況が発生してもタクシー会社に応援をいただく。バスには列車の運転士が添乗して状況を逐一報告している。少しでもご不便をおかけしないように運行している、というところである。少しでも早く運転再開できるように更なる努力を努めてまいりたい。日程についてはまた変更になり次第お示ししたい。

(会長)

質問、意見などあればお願いしたい。

(加藤委員)

一般路線バス、くるるん、高速バスについては運休はなく通常運行だったという理解でよろしいか。また、空港連絡バスについて。13,14,15日はどうなっていたのか。それから、芸備線が途中で乗り換ええないといけなくなったということで、備北交通の高速バスに混雑が見られるということを知ったが、状況をおしえてほしい。

また、私も芸備線の三次から備後落合まで代行バスに乗り、さらに新見まで乗っていった。代行バスは遅れもなく運行されていたが、利用者が少ないのが気になる。元々少ないということもあるが、これを機会に、今までJRを利用して子どもを親御さんが送るようになり、そのままJRを利用しなくなるということが懸念される。JR西日本のホームページを拝見したが、三次市でもホームページで時刻等を案内されていて、スピーディであり、対応されていることは非常にありがたい。夏休み中ではあるが、バス代行の利用状況もおしえてほしい。

(事務局)

くるるんについては6日の夕方から7日にかけて運休と聞いている。空港連絡バスについては7月6日の便から運休している。ご指摘の13日から15日が抜けていることについてであるが、まず最初にフルーツロード、世羅町に入ってすぐの大豊農園の手前の所で土砂崩れが発生し、通行止めになっていた。そこを迂回する運行ルートを設定していただき、12日から運行を始めたが、その日から今度はフライトロードの道路陥没により、また通行止めとなり、運休した。そのため13日から15日は運休。16日から18日はフライトロードが復旧したためフルーツロードの迂回のみでの運行となり、19日からは全区間通常通り運行できるようになった。2箇所の通行止めが別々のタイミングで起きたため、このようにずれた運行を行った。

(名越委員)

一般路線バスについて。6日は雨が強くなった15時以降くらいに一般路線バス全便運休している。翌日の7日も全休となった。その翌日の8日は午前中は運休し、午後に道路の状態を確認し、概ね良さそうだということで午後から運行している。特に三次管内においては道路状態が良くない所もあったが、片側通行ができるところが殆どであったため、8日以降は概ね全路線運行している。部分部分で止まったところは三次管内ではなかった。庄原の路線バス、東城の廃止代替バス、これらは迂回も含め運休があった。

くるるんは先ほど紹介いただいた通りである。空港連絡バスも、事務局からお話しいただいた通り別々な道路の陥没や通行止めがあり、この記載の通りの運行となっている。

高速バスについて。6日の夕方から全休。7日は1日全便運休。8日の午後から高速道路の通行止めは解消されたので、それ以降は運行している。豪雨災害があった1～2週間はバスの運行状況についての問い合わせも非常に多かったが、イベントや宿泊の予定等が中止になったりしたようで、お客様もかなり少なくなっていた。7月の下旬くらいからJRがこのような状況であるということで、バスをかなりご利用いただいている。朝夕の便に関してはお客様が乗り切れず、ご迷惑をおかけしている時間帯もある。弊社としては増便したいのは山々であるが、人員がおらず、次の便をご利用いただくしかない。次の便は20～30分後にはなるが、お客様に無理を言って待っていただいているという状況である。通勤・通学のお客様がいらっしゃる中で、非常に心苦しい所ではあるが、今の所はご理解いただいて、ご利用いただいている状況である。

(事務局)

JR離れの懸念について。この豪雨災害以降、事務局としてもJRと密に連絡をとり、例えばJRの代行バスの時刻表、バス停等を市のホームページ上でいち早くアップしてご案内をしたり、代行バスのルート上の枝が邪魔であるということがあれば私どもで調整したり、バス停の位置を地元の方と協議したり、色々と連携して代行バスを安全に運行できるよう取り組んでいる。ただ、この災害によってJRからお客様が離れるという懸念も若干ある。8月3日に広島市長、三次市長、安芸高田市長、庄原市長と、4市の市長が集まり、緊急に芸備線対策協議会を行った。その中でJRの1日も早い復旧をお願いするとともに、4市もこれから一層の利用促進策を考えていこうということで、昨日も事務局で集まり、協議をしたところである。今後JRにお客様が戻るような利用促進策を4市でも考えて、更なるJRの利用に戻していこうと取り組んでいる最中である。

(渡邊オブザーバー)

地元のバス乗り場付近にお住まいの方に色々ご協力をいただくために市役所からお声掛けをいただきながら、バスが安全に運行できることもさることながら、遅れが少しでも少なく運行できるようにしている。乗客数の詳細については、夏休み明けに高校生が帰ってきた後、一般の方がどれくらい乗られるかということを確認していききたい。次のタイミングでご報告できればと思う。

(会長)

芸備線、福塩線については三次市をはじめ、地域としてもしっかり取り組んでいながら、JRにも出来るだけ早い復旧をお願いしつつ、関係者が連携して取り組んでいくことが重要であるので、引き続きよろしくお願ひしたい。

<事務局より、協議事項(2)「三次市民バス甲奴町線の停留所新設について」を説明>

<事務局より、報告事項(3)「中国バス「きんさいライナー」(三次～福山線)の運行開始について」を説明>

<事務局より、報告事項(4)「路線バス(備北交通運行便)運行計画の一部変更について」を説明>

<事務局より、報告事項(5)「作木町公共交通空白地有償運送「さくぎニコニコ便」の運用拡充につ

いて」を説明>

(会長)

ただいまの報告事項2から5についてご意見、ご質問はあるか。

(赤澤委員)

(2)の新設停留所について。これは区域運行であったか。そうであれば、特には無い。運賃は均一ということか。

(事務局)

300円の均一である。

(赤澤委員)

(5)のニコニコ便について。エリアとして路線適用の事業者とかぶっていると思われる。当時はお互いすみ分けして足りない部分を、というスタートだったと思うが、拡充してお客様を取り合うような関係になるのも良くないので、今後注視していただければと思う。よろしくお願ひしたい。

(加藤委員)

さくぎニコニコ便の運用拡充について。先ほどの有償運送の協議会の資料によると全地区イベント便は土日曜日になっていたが、こちらの資料では祝日が入っている。また、新聞紙上で知ったことであるが、三次市とマツダが関わって試みをされるという記事を拝見した。電話等での予約を、ICTを活用して行うというのがベースであろうが、他にも利便性のアップにつなげるといった話も進んでいるのかどうか、進捗状況もおしえていただければと思う。

三次市民バスの停留所新設について。この商店が地域にとってのインフラと考えることもできるので、商店名を停留所の名前にしても良いのではないか。

きんさいライナーについて。これは中国バスが主導して考えられたものなのか。三次市は何か協力しているのか、そのあたりをお伺ひしたい。かつて、米子、松江と福山、尾道を結んだ高速バスが走っていたが、陰陽の流動がさほどなく、高速バス自体がなくなった。きんさいライナーは採算ラインの目標をどのあたりにおいているのか。これに向けて利用促進をすることが路線を維持し、三次市への入込客を増やしたり、定住につながるということにもなるかと思う。また、運賃が記載されているが、往復券は設定されていないのか。ICカードは使えるのか。

また、福塩線の代行バスのインフォメーションも含め、三次市のホームページが拡充されている感じがして、嬉しく思っている。三次から山陽方面へのアクセスについて、というページで芸備線、福塩線、きんさいライナー等紹介されているが、山陰方面へのアクセスについてのページもあればと思う。

(4)の下高野線については後のフィーダーの所でもでてくるのか。土曜日が廃止されるのみならず、系統自体がなくなる、ということか。

(事務局)

市民バスの停留所について。「梶田上」の名称であるが、商店の名前を付けるというよりは、地域としてわかりやすい名前を付けたいと考えている。「梶田上」というのは甲奴町の自治連からこの名前前でどうかとお話をいただいた。この名前にこだわっているわけではないので、地域の方と話をしながら設定をしたい。

中国バスについて。この度はICカードの設備がついていない車両が使われており、パスピー及びイコカ等の10カードは使用できないと聞いている。また、回数券や往復券の設定も今の所は無い。

高野線の系統について。これは系統廃止ということで間違いない。②が①に統合されるので、②は系統廃止となる。

ニコニコ便については、先ほどの資料には土日と書いてあったが、土日祝というのが正しい表記である。

(加藤委員)

マツダの件は進んでいるのか。

(事務局)

広島県と共同で進めているプロジェクトであり、経緯等説明していただければと思う。

(東山委員)

6月に中国新聞と日経新聞に掲載されたマツダの実証実験について改めてご説明する。経緯としては昨年7月にマツダの方から車を通して社会貢献をしたい、と県に申し入れがあった。マツダから車の提供と、予約システムのアプリ開発の2つを提供したいとのことであった。実証実験をどこで出来るかということで協議を進めてきた中で、今すでに自家用有償をされている作木のNPO法人と、新しく地域内交通を始めたいとされている川西の2つで今回の実証実験をやっていくことになった。まだまだ準備段階ではあるが、今日の有償運送の協議会ではさくぎニコニコ便でイベント便の拡充に合わせてマツダの車両、アプリの提供を活用して進めていければと思っているが、アプリについては10月の運行開始に間に合うかどうかは今調整中である。

川西は協議を進める中で自家用有償ではなく、無償運行で地域内交通を始めたいという意向があったため、ここでも10月の運行開始に向けて調整をしている。予約アプリについては、今すでにUberや第一タクシーであるとか、全国展開をしているタクシー事業者などで開発が進んでいるが、それにプラスアルファでその予約アプリを介して地域が繋がるような仕組みを検討されている。例えば、「地域のコミュニティセンターでこんなイベントがある」というような情報を発信して、お出かけのきっかけになるような付加価値をつけるような方向で今調整をしている。アプリでの予約だけではなく、利用者はどうしても高齢者が多くなるので、従来通り電話での予約システムも残しながらアプリも入れていきたいと考えているところである。

(会長)

きんさいライナーの利用促進については何かあるか。

(瀧奥委員)

きんさいライナーについては中国バスからの提案である。福山の駅につなぐことで新幹線への連絡や、三次方面への利便性が高まるという中で、ある程度採算性についてはお考えかと思うが、詳細については伺っていない。福山と三次を直接つなぎ、市民や、観光でおいでいただく方の利便性を高めるため、民間で努力をしていただくということである。

(東山委員)

きんさいライナーについて。三次市としては芸備線対策協議会で利用促進を図っているのと合わせて福塩線の利用促進も図っているかと思う。今回きんさいライナーを運行することにより、福塩線と競合する可能性もあるかと思うが、例えばダイヤについて配慮している等があればおしえてほしい。

(瀧奥委員)

ダイヤは中国バスから提案いただいたものである。基本的には新幹線との乗り継ぎを考慮されている。福塩線との整合については今はみていない。

4. 協議事項

<事務局より、協議事項(1)「平成31～33年度地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について」を説明>

(加藤委員)

庄原市側で竹地谷を通らないように、ということで地元で協議をされたのであろうが、三次市としては君田を通る便が増えるので利用が増える可能性はあるかとは思ふ。この変更に伴い、今まで君田では乗り方教室も開催されていたが、そういった案内や周知等もしてもらえればと思う。また、運行系統図が11ページにあるが、道の駅たかのと上大月の間のこの線は消した方が良くかと思う。今回の件には関係無いが、都賀都橋からグリーンロード大和まで延びていたりとか、色々変わっている箇所があるのでリバイスしていただければ良いかと思う。

(会長)

事務局で調整して、直せる所は修正してほしい。

(事務局)

本件については庄原市から竹地谷、いわゆる高野町の中で利用状況が少ないということで、君田を通るルートに変更されるということである。三次管内については平日に1便増便となるということで特に大きな影響があるとは考えていない。

周知の方法について。土曜日が減便になるということで、君田町では生活交通検討部会を設置しており、先日そちらに説明に伺った。その際、君田町内の支所だよりを使ったり、新聞折り込みをしたりと、何かしら9月中に周知をする、と話しをしている。また、これは市民バスに繋ぐ路線であり、市民バスの時刻についても、大きな時刻変更があれば調整をする、ということで話しをしている。周

知方法の具体については地元と調整させていただく。

<事務局より、協議事項(2)「路線バス「下高野線」の系統統合に伴う一部路線の廃止について」を説明>

(会長)

ご質問、ご意見等あればお願いしたい。無いようであれば本日予定していた報告、協議事項は以上となる。

協議事項は承認ということでよろしいか。

(一同)

(承認)

(加藤委員)

前回の交通会議で、運賃の特例ということで、夏休みに備北交通が子ども向けの切符を発売されるということであった。実際に夏休みに入ってからの、売れ行きや利用状況をおしえていただきたい。

(名越委員)

小学生 1,000 円、中学生 2,000 円で当社のローカルバスを自由に乗降してもらえるとこのものを発売した。教育委員会よりチラシを配ってもらうように庄原市、三次市にお願いしたが、庄原市では配ってもらえたが、三次市では配ってもらえなかった。庄原市ではすごく売れており、130~140 枚くらいは売れている。三次市では 10~20 くらいである。販売実績としてはほとんど庄原市となるが、かなり好評である。利用実績は、特定の 3 日間で運転士に日報をつけてもらうことで把握を行う。来年もできるようにであれば実施したい。

(加藤委員)

三次市の教育委員会はなぜ配らなかったのか。

(名越委員)

当社は民間企業であるので、収益事業ということで特定の会社がビラをまく、というイメージでとられたかと思う。決してこれで儲かるというものでもないので、ご協力いただければありがたかった。

(事務局)

その経緯は承知していなかった。来年はぜひ協力させていただきたい。

(加藤委員)

運転士が日報をつけられている状況等もこの会議でおしえていただければ、その効果で来年度の取り組みにも繋がるかと思う。

(名越委員)

対象路線は全路線補助金をいただいているので、報告する義務もあろうかと思う。また実績を踏まえて報告させていただく。

(瀧奥委員)

備北交通にご協力いただきながら、三和町で格安の通学定期券の販売を行っている。子どもの時代にバスを利用してもらって理解し、大人になっても乗ってもらえるという雰囲気作りは、三次市としても大切だと思っており、路線バスに乗って守ってもらうという視点に立った取り組みを広げていく必要があると考えている。今後、色々な方策を練りながら取り組んでいきたい。

(会長)

バス、タクシー、JR等色々なものが地域公共交通であるので、行政も含め関係者がしっかりと取り組んでいければと思う。

続いて、事務局から連絡事項をお願いする。

(事務局)

次回の交通会議は12月末を予定している。

6. 閉 会

以 上